

# センター通信

2021年10・11月〔第264号〕

Create(創造), Challenge(挑戦), Collaborate(協働)を大切に

発行所 社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会

広島市就労支援センター

TEL (082) 537-1331

FAX (082) 537-1332

E-mail: si-jusan@gaea.ocn.ne.jp

http://h-shisyurou.jp/

広島市就労支援センターは、広島市の委託事業を「広島市手をつなぐ育成会」が受託して行っている事業です。この春、育成会の水戸静真常務理事が退任され、その後新しく円並地法雄様が着任されましたのでご挨拶をいただきました。



広島市手をつなぐ育成会は、広島市就労支援センター事業を昭和63年に受託して以来、下請け仕事の受注促進や自主製品の販路開拓、施設間の連絡調整等についてセンター的機能を果たし、就労支援施設等の事業振興と利用者の処遇の充実向上に取り組んでいます。

センター事業の運営にあたっては、障害者就労施設、在宅就業障害者支援施設、行政の代表からなる運営協議会を設置し、具体的事項について協議を重ね円滑かつ効果的な運営となるよう努めています。令和3年度では重点項目を、〇コロナ禍のため各種イベント等の中止により激減した出店販売の機会を回復させるための販路開拓、〇事業所の安定した収入につながる内職の起業とし、利用者の処遇の充実向上に鋭意取り組んでいるところです。今年度のセンター通信には、企業や障害者支援施設等間の連携の具体例を掲載しています。

東京2020パラリンピックの開会式のテーマはWE HAVE WINGSでした。障害のある主人公は「片翼の小さな飛行機」として登場していました。広島市就労支援センターはWEに位置しています。これからの下半期、障害のある方の自立と社会参加に向け、引き続き皆さんと共に活動していきます。

広島市就労支援センター運営協議会委員長 円並地法雄（手をつなぐ育成会常務理事）

## 企業による就労支援事業所応援特集

昨年からの新型コロナ感染拡大により、イベントが中止になる等して出店販売の機会が随分なくなりました。また、内職・下請けなども減り事業所の売上に大きな影響が出ています。そのような中、厳しい状況にある事業所運営の手助けになればと各方面から販売の場の提供などの有難い情報が多く寄せられました。今回は、昨年から拡大した販路状況について特集してみました。

販路が拡大したパターンとしては

- ① 企業の方からのご提案
- ② 市ボランティア情報センターからの情報提供
- ③ 広島市の包括連携協定を切り口にして
- ④ 市就労からの依頼 等があります。

### ① 企業側からのご提案（マックスバリュ西日本）



昨年9月初旬、マックスバリュ本郷店で、三原地域の障害者福祉事業所が出店するイベントの計画がすすめられている

際に、マックスバリュの地域連携推進部の方から「広島市内でもこういった地域の輪を広げるような取組を行いたい」との提案が広島市職員にあり



ました。それを受けマックスバリュ西日本（株）担当者の方と障害自立支援課、市就労が協議し、広島市内のマックスバリュでの出店販売の実現にこぎつけました。現在は、5箇所5事業所ですが、今後は少しずつ範囲を広げていけたらと考えています。月1～2回の出店ですが、マックスバリュ各店長さんは、大変協力的でいつも笑顔で迎えてくださいます。各支店近くの事業所が出店しているため、地域の方々に事業所の事を知っていただく良い機会になっているようです。

・千田店の店長さん、店員さんにとっても親切にして頂いてありがとうございました。町内の方もお店をのぞいてもらったり、近くでないお客さんにも来て頂いたりしてメンバー達もおしゃべりができてとても良かったです。  
(パンダハウス 山口雅子)

・マックスバリュ楽々園店の出店は、地域の方々に当作業所を認知していただける良い機会となっております。感謝しています。売上には変動がありますが、そのたびにレイアウトを変え、お客様の目線、商品の感じ方をスタッフと話し合いながら売上向上につながる工夫をしています。

(おーぷんはーと作業所 山下真麗子)

## ② 市ボランティア情報センターからの情報提供（マツダ、大東建託）

事業所の出店販売については、市ボランティア情報センターから情報提供を頂いて出店につながったものがあります。

まず、昨年夏、マツダ株式会社から事業所支援協力の問い合わせがあったと市ボランティア情報センターから情報提供がありました。昨年7月にマツダ（株）と本社内のショッピングセンター「マツダエース（株）」の担当者と市ボランティア情報センター所長、（社福）もみじ福祉会 井上一成理事長と市就労で協議の場を持ち、



マツダ本社内の社員向けショッピングセンター「マツダエース」の一角に事業所自主製品の委託販売特設コーナーを設けることになりました。そのコーナーには、クッキー、雑貨等を毎週納品していますが、コロナ禍が収まれば、マツダ本社内のイベント等での出店販売にもつなげていきたいと考えています。

また、今年春、大東建託広島南支店でパンの出店販売の情報も提供して頂きました。原則毎月1日12時30分～、大東建託社員さん向けのパンの出店販売が4月から始まり、毎回直ぐに売り切れる程人気となっています。ただ、5月と9月は、コロナ感染拡大予防のため中止となりました。今後も市ボランティア情報センターとの連携を大切にしていきたいと考えています。

## ③ 広島市の包括連携協定を切り口にして

(リコージャパン（株）、イオン（株）、日本郵便（株）、生協ひろしま、明治安田生命、…)

「包括連携協定」をご存知ですか。⇒ <https://www.city.hiroshima.lg.jp/life/5/36/224/>

包括連携協定とは、福祉・環境・防災・まちづくりなど、地域が抱えている様々な課題に対して、自治体と民間企業等が双方の強みを生かして課題解決に向け連携していく取組です。



広島市は、地域の活性化や市民サービスのより一層の向上を図るため、民間企業等と包括連携協定を締結しています。この協定を締結している企業と関係課が協議し事業展開の可能性を模索していますが、その中で障害自立支援課（必要に応じて市就労も参加）は、主に企業内での昼食時の出店販売や置き菓子（オフィスクッキー）について検討し、できることから実施しています。この協定に基づいて実現で

きたものは、リコージャパン広島支店、イオン株式会社、日本郵便株式会社等があります。現在、まだ検討中のものもあり（生協ひろしま、明治安田生命、日本生命…）今後の事業展開に期待したいところです。

#### ④ 市就労からの依頼

市就労として、事業所の出店販売等の場所提供を依頼した企業もいくつかあります。その中で快諾してくださったのが、(株)イズミが運営するLECTです。昨年8月から1Fカインズ前イベントスペースで、3事業所～5事業所の出店販売ができるようになりました。「買って応援。みんなで支える、働く笑顔！『福祉事業所出店販売会』」と題して、月1～2回のペースで販売しています。しかし、コロナ感染拡大のため5月から中断しており、8月から再開の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症第5波の影響で未だに再開できていません。新しく出店販売の場所が確保できても、コロナ感染拡大予防のために出店できない状況が続いています。



※それぞれの事業所で、企業からの応援を頂いている事例がありましたら市就労まで情報を提供してください。

### 第9期千羽鶴ファクトリー構想（2020.9～2021.8）リモート報告会



昨年に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染拡大予防対策のためファクトリーチームの報告会を動画配信で行いました。内容は、1) 広島市手をつなぐ育成会 山本一隆会長 ご挨拶 2) 広島市平和推進課 稲田亜由美課長のお話 3) プロジェクト事務局 吉清有三氏 年度報告 の3部構成でした。

この3人の方のお話をビデオ収録したものをファクトリーチームの皆様へ視聴して頂き、この動画を視聴したことで参加に代えるという事にしました。

- 1) 山本会長からは、千羽鶴未来プロジェクトのこれまで果たしてきた役割と今後に期待する事
- 2) 平和推進課の被爆体験継承担当課 稲田課長からは、千羽鶴の現状という事で、千羽鶴が納められるようになった経緯とコロナ禍で減っている現状及び今後の見通しについて
- 3) 吉清氏からは、「実績の検証と継続目標」と題して、昨年度から障がい者を職人に育てようという新しいMISSIONが加わり、1年間どの様に事業が展開されてきたかの発表がありました。



主な内容は

#### ○「プロジェクトの内容」

- ・ 平和都市（広島・長崎・沖縄・大分・大分等）との連携
- ・ 未来型社会に対応できる若者の育成
- ・ 障がいを優とする職人を育てる社会実験の推進

#### ○「MISSIONとその検証」

##### ・ みんなで作ろう再生グッズ

御朱印帳…和歌山の工房で作っている蒔絵が表紙のものから表紙も再生紙の新御朱印帳の開発（1冊からできる）…大和ミュージアム、アンジュビオレ、熊の筆

- ・ 職人としての腕を上げよう …a. 一つの仕事が誰よりも丁寧出来る b. 淡々とやり続ける

c. 工賃になる d. 親方、女将さんが居た時代に戻そう

##### ・ 新しいミュージアムグッズを上げよう

… 売っていただく担当者、トップが笑顔になるグッズ  
ASA ZOOの例（動物園の様子を伝えるグッズ、キリンの子「はぐみ」応援グッズ、フラミンゴの羽を使ったフラミンゴカード

##### ・ アーティストとのコラボレーション

… かめいち堂 田島亮一さんとのコラボ  
⇒すまスタのオーニングのデザイン、B6リングノート（くじらと動物がテーマ）、動物かるた、卓上カレンダー、干支カード、メモ帳、付箋、葉等々



○「コロナ禍に出来ること」

- ・医療従事者への応援

○ネットワークの強み

再生グッズの製作に携わっている事業所数が19事業所（型抜き7事業所、袋詰め18事業所）  
製作に携わっている利用者151人（台紙の型抜き25人、袋詰め箱詰め144人）

○「MISSIONの継続」

最後に第10期を迎えるにあたって「3つのMISSION（・みんなで作ろう再生グッズ ・職人としての腕を上げよう・複雑な仕事をしよう）の継続」について確認し、「10年目のステップアップをしましょう」という言葉で締めくくられました。

千羽鶴ファクトリーチーム報告会の動画は [こちら](https://youtu.be/ISkB3nV3B4E) ⇒ <https://youtu.be/ISkB3nV3B4E>

**広島市役所は火・金曜日、安佐北区役所等は火曜日出店販売しています！！**

10月、11月の出店販売日は次のとおりです。販売時間は12:00~13:00です。ぜひ、お立ち寄りください。

広島市役所 1階ロビー（東側）				
出店販売日		事業所（1）	事業所（2）	
10月	5日	火	デリカシャンテ	おりづる作業所
	8日	金	デリカシャンテ	ピース・ドリーム作業所
	12日	火	デリカシャンテ	なないろ作業所
	15日	金	ピース・ドリーム作業所	パンダハウス
	19日	火	広島市皆賀園	SOAR きつつき
	22日	金	デリカシャンテ	なないろ作業所
	26日	火	SOAR きつつき	ピース・ドリーム作業所
	29日	金	SOAR きつつき	アイラブ作業所
11月	2日	火	デリカシャンテ	おりづる作業所
	9日	火	SOAR きつつき	安芸の郷
	12日	金	デリカシャンテ	ピース・ドリーム作業所
	16日	火	広島市皆賀園	SOAR きつつき
	19日	金	SOAR きつつき	パンダハウス
	26日	金	デリカシャンテ	古の市
	30日	火	デリカシャンテ	みのり作業所

			安佐北区役所 1階ロビー	安佐北区総合福祉センター 2階
10月	5日	火	ディーセント高陽	龍馬ファーム
	12日	火	—	ふたつかの里
	19日	火	就労継続支援B型 MIRAIMA	龍馬ファーム
	26日	火	ふたつかの里	可部つちくれの家
11月	2日	火	ディーセント高陽	龍馬ファーム
	9日	火	就労継続支援B型 MIRAIMA	ふたつかの里
	16日	火	—	龍馬ファーム
	30日	火	ふたつかの里	可部つちくれの家

※その他の区役所等では、各事業所の自主的な取組により、週1~2回自主製品の販売が行われています。9月は、緊急事態宣言発令で出店は全て中止となりました。今後、再び発令が出ないことを願っています。